

乳癌-66

HER-2 陽性乳癌

【進行・再発】フェスゴ配合皮下注＋weeklyパクリタキセル併用療法

患者プロトコール

催吐リスク

軽度

放射線併用なし

投与プロトコール		投与量	投与日	投与時間	備考
コース 21日間 コース制限なし 《開始時基準 PS:0~1・年齢:18歳以上》					
ルートKeep	生食 500ml	-	Day1,8,15	-	
①	初回	フェスゴ配合皮下注 IN (15mL)		Day1	皮下注射 8分かけて大腿部に投与(前面又は側面) 詳細は、電子添文参照
		<有効成分> 以下に各有効成分の投与量を記載			
		ペルツズマブ :1200mg/body	mg		
		トラスツズマブ :600mg/body (ホルヒアルロニダーゼ アルファ:30,000U)	mg -		
経過観察	フェスゴ投与終了後、Infusion reactionの発現がないことを確認してから、次の薬剤を投与する。初回は30分の経過観察を行い、2回目以降は15分まで短縮可能。(30分)				
②	2回目以降	フェスゴ配合皮下注 MA (10mL)		Day1	皮下注射 5分かけて大腿部に投与(前面又は側面) 詳細は、電子添文参照
		<有効成分> 以下に各有効成分の投与量を記載			
		ペルツズマブ :600mg/body	mg		
		トラスツズマブ :600mg/body (ホルヒアルロニダーゼ アルファ:20,000U)	mg -		
経過観察	フェスゴ投与終了後、Infusion reactionの発現がないことを確認してから、次の薬剤を投与する。初回は30分の経過観察を行い、2回目以降は15分まで短縮可能。(15分)				
プレメディ(内服)	セレスタミン	1錠	Day1,8,15	30分前	
プレメディ(注射)	5-HT ₃ R拮抗剤＋デキサメタゾン＋H ₂ R拮抗剤＋生食100mL		Day1,8,15	30分	
③	パクリタキセル:80mg/m ²		mg	Day1,8,15	1時間
	5%ブドウ糖 250mL				

佐賀大学医学部附属病院